私にとって税理士とは② TKC税理士の関与先事例紹介(農協)







私は4年前に前任者から事業を承継したのですが、それまで決して順調ではなかった経営状態を立て直さなければならないという使命がありました。当時は別の税理士の先生にお願いしていたのですが、決算書の作成や経理処理を依頼するのみで、経営の中身を相談するということはありませんでした。

そんな時、知人を通じて望月先生を紹介していただき、税理士のイメージが一変しました。望月先生に顧問をお願いしてからは毎月データを基に議論をし、アドバイスをもらっています。先生は他の企業の顧問をしているので、客観的な立場から適正な原価率や在庫額などの意見をもらえて、大変説得力があります。これから経営を立て直さなければならないと思っていた私にとって、まさに諸葛孔明のような「軍師」を得た気持ちでした。いまでは重要な経営会議にも専門家の立場として出席してもらっています。経営会議のメンバーや組合員も望月先生の会議参加に非常に好意的で、参謀を得てひとつのチームになれたと実感していています。